

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 3年 6月 17日

(宛先) 岡 崎 市 長 殿

提出者

住 所 岡崎市岡町字上三川 111番地

氏 名 三井ミーハナイト・メタル株式会社

代表取締役 多賀谷 泰三

電話番号 0564-51-3521

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	三井ミーハナイト・メタル株式会社 岡崎工場
事業場の所在地	岡崎市岡町字上野川111番地
計画期間	令和3年度(令和3年4月～令和4年3月)

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

1 事業の種類	22: 鉄鋼業
2 事業の規模	製造品出荷額 92,100万円
3 従業員数	71人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙-1のとおり

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
(管理体制図)  別紙-2のとおり		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		
1 現状	【前年度(令和2年度)実績】 別紙-3のとおり	
	産業廃棄物の種類	
	排出量	t t
	(これまでに実施した取組)	
2 計画	【目標】 別紙-3のとおり	
	産業廃棄物の種類	
	排出量	t t
	(今後実施する予定の取組)	
産業廃棄物の分別に関する事項		
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 鋳さい、廃プラ、木くず、ガラス類を分別 ・ 各所に分別要領の表示と指導	

②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・分別作業の発生を抑える手段を推進 ・購入材料の梱包材をより少なくするよう業者へ要請
-----	--

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
1 現状	【前年度（令和2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 実施していない —		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 実施予定なし —		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
1 現状	【前年度（令和2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 実施していない —		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	— t	— t

	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	—	t	—	t
	(今後実施する予定の取組) 実施予定なし	—			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項					
1 現状	【前年度（令和2年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	—		—	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	—	t	—	t
	(これまでに実施した取組) 実施していない	—			
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	—		—	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	—	t	—	t
	(今後実施する予定の取組) 実施予定なし	—			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項					
1 現状	【前年度（令和2年度）実績】 別紙-4のとおり				
	産業廃棄物の種類				
	全処理委託量	t		t	
	優良認定処理業者へ の 処理委託量	t		t	
	再生利用業者へ の 処理委託量	t		t	

		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		(これまでに実施した取組)		

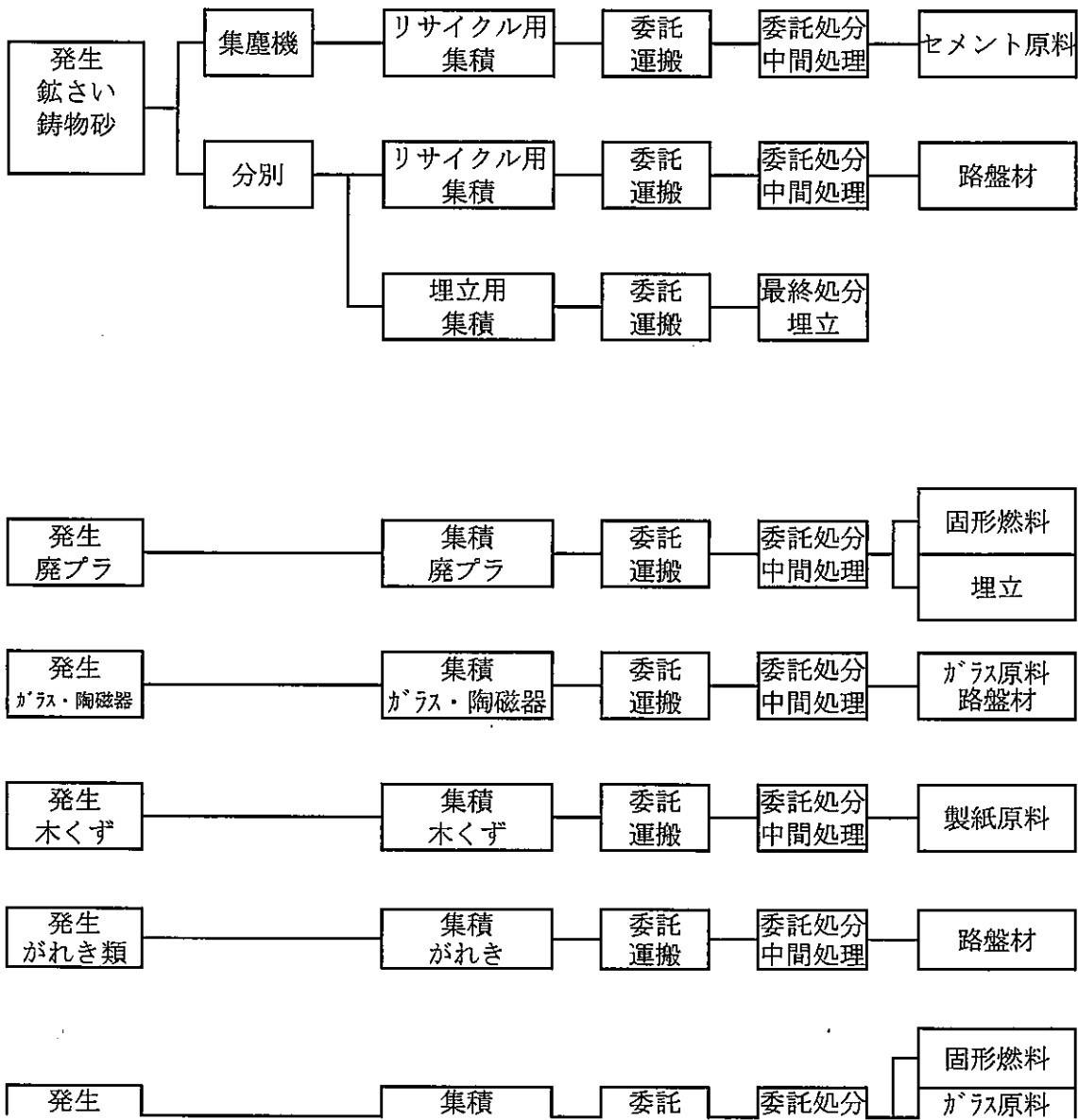
(第5面)

2	計画	【目標】 別紙-4のとおり		
		産業廃棄物の種類		
		全処理委託量	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄				

備考

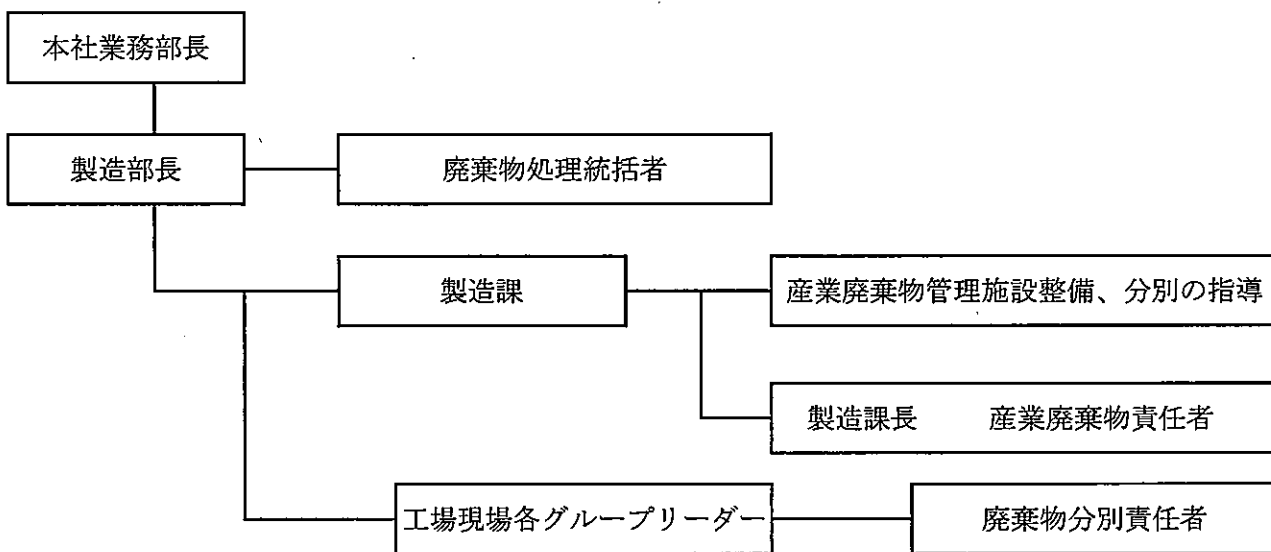
- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の一連の処理の工程



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)





産業廃棄物の排出抑制に関する事項						
	【前年度（令和2年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	鉍さい	廃プラスチック類	木くず	ガラス・陶磁器くず	混合屑
	排出量	838 t	2 t	68 t	0 t	4 t
① 現状	(これまでに実施した取組)					
	1. 床にこぼれた砂を分別回収し再利用					
	2. 埋立廃砂とされた混入ゴミを取り除きリサイクル路盤材向けにする。					
	3. 鉄原材料にノ鉍さいの発生原因となる不純物の混入を減らす為その購入基準を上げる					
	4. 材料の納入業者に過剰包装の禁止と梱包材の自主回収を要請					
② 計画	5. 購入原材料の見直しや変更					
	【目標】					
	産業廃棄物の種類	鉍さい	廃プラスチック類	木くず	ガラス・陶磁器くず	混合屑
	排出量	900 t	2 t	50 t	1 t	1 t
	(今後実施する予定の取組)					
1. 前年度の取組の継続						
2. 埋立鉍さい率の削減						

産業廃棄物の処理の委託に関する事項		産業廃棄物の処理の委託に関する事項					
現状①	【前年度（令和2年度）実績】 【前年度（令和2年度）実績】						
	産業廃棄物の種類 産業廃棄物の種類	ふさい 鉦さい	プラスチック類	廃プラ	木くず	ガラス・陶磁器 くず	混合屑 混合屑
	排出量 排出量	838 t	2 t	68 t	1 t	4 t	
	全処理委託量 全処理委託量	838 t	2 t	68 t	1 t	4 t	
	優良認定業者への 処理委託量	572 t	0 t	0 t	0 t	0 t	
	再処理業者への 処理委託量	801 t	2 t	68 t	1 t	4 t	
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	
	認定熱回収業者以外への 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	
	(これまでに実施した取組) (これまでに実施した取組)						
	・徹底した分別によるリサイクル資源化・徹底した分別によるリサイクル資源化						
計画②	【目標】 【目標】						
	廃棄物の種類 産業廃棄物の種類	ふさい 鉦さい	プラスチック類	廃プラ	木くず	ガラス・陶磁器 くず	混合屑 混合屑
	全処理委託量 全処理委託量	850 t	5 t	50 t	1 t	1 t	
	優良認定業者への 処理委託量	550 t	0 t	0 t	0 t	0 t	
	再処理業者への 処理委託量	800 t	5 t	50 t	1 t	1 t	
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	
	認定熱回収業者以外への 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	
(今後実施する予定の取組)							
・徹底した分別によるリサイクル資源化							